平成 26 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名　　アキュセラ・インク（Acucela Inc.）
代 表 者 名　ファウンダー、会長兼 CEO　窪田　良
（コード番号：4589 東証マザーズ）
問 合 せ 先　アキュセラ・インク（Acucela Inc.）
日本事務所　ディレクター　須賀川 朋美
（TEL：03-5789-5872（代表））
代 理 人　ベーカー&マッケンジー法律事務所（外国法共同事業）
弁護士　高橋　謙　（TEL：03-6271-9900）

2014年米国眼科学会議における「エミクススタト塩酸塩」に関する講演発表のお知らせ

シアトル市（2014年10月16日（米国西海岸標準時間））－2014年10月21日（米国中西部標準時間）に米国シカゴで開催される2014年米国眼科学会議(AAO 2014)において、Retina-Vitreous Associates Medical Group（米国カリフォルニア州）のRoger L. Novack医師が、当社の主力パイプラインである「エミクススタト塩酸塩」に関して、地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の患者に対する薬理学的効果についての発表を行う予定です。「エミクススタト塩酸塩」は、視覚サイクルモジュレーション技術を用いた、当社が独自に開発した経口投与型の化合物です。Novack医師は、「エミクススタト塩酸塩」の臨床第２a相試験の治験担当医師を務め、現在実施されている臨床第２b/３相試験の治験担当医師も務めています。

記

日時：　2014 年 10 月 21 日午前 10 時 46 分（米国中西部標準時間）
（日本時間 10 月 22 日午前０時 46 分）

題目：　「地図状萎縮を伴うドライ型加齢黄斑変性の治療に関する「エミクススタト塩酸塩」の薬理学的アプローチ(PA089)」
“Pharmacodynamic Properties of Emixustat Hydrochloride in the Treatment of Geographic Atrophy (PA089).”

発表要旨：　https://secure.aao.org/apps/AnnualMeetingRegistration/tabid/459/Default.aspx
上記サイトより検索可能です。

以上

米国眼科学会(AAO)について

米国眼科学会（AAO)は、米国サンフランシスコを本拠とし、世界で３万２千人以上の眼科医会員を有する、世界最大規模の眼科医協会です。2014年度の米国眼科学会議の年会(AAO 2014)に関する詳細は、米国眼科学会（AAO）のウェブサイト（http://www.aao.org/meetings/annual_meeting）にてご覧いただけます。

アキュセラ（Acucela Inc.）について

アキュセラ（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社は現在、大塚製薬株式会社と共同で、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタト塩酸塩」および大塚製薬が創製した高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の開発を行っています。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。